

2026年3月31日

沖縄拠点開設に向けた連携の検討開始について

株式会社NTTロジスコ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：中江 康二、以下「NTTロジスコ」)は、沖縄県内への新たな拠点開設を目指し、沖縄ヤマト運輸株式会社(以下「沖縄ヤマト」)の協力のもと、同社が運営する「沖縄サザンゲート」※を活用した事業展開の検討を開始いたしましたので、お知らせいたします。

1. 背景・目的

NTTロジスコでは現在、3.5PL®ビジネスの展開において、沖縄県向けサービスの提供にあたり、主に本州・九州等の拠点から発送を行っています。そのため、沖縄～本州・九州間等の長距離輸送によるリードタイムの長期化や輸送コストが増加し、さらに環境負荷の観点など、これまで以上にお客様のニーズへの対応が課題となっています。

これらの課題を解決するため、NTTロジスコはヤマトグループのフレイター(貨物専用機)や流通加工機能・保税機能を備えた「沖縄サザンゲート」及び宅急便を中心とした輸配送ネットワークを活用し、沖縄県に新たな拠点を開設する検討を開始いたします。沖縄拠点開設により、同県内での循環型運用の実現や、アジア圏を中心とした越境ECなど海外展開への足掛かりとするなど、沖縄の地理的優位性を生かした新たな事業モデルの構築を目指します。

2. 期待される効果

(1) 物流効率化とコスト最適化

沖縄～本州・九州間等との長距離輸送を削減し、物流効率の向上とコストの最適化を図ります。

(2) 環境負荷の低減

輸送距離の短縮により、CO₂排出量を削減し、環境負荷低減に貢献します。

(3) リードタイム短縮・在庫最適化

地元完結型モデルの構築により、IT機器・医療機器の24時間緊急配送や、リファビッシュサービス(修理・再生)など、お客様のニーズに、より迅速かつ柔軟に対応します。

(4) 海外事業展開に向けた足掛かり

「沖縄サザンゲート」の保税機能を活用し、アジア市場を見据えた越境ECサービスなど、海外向けサービスの提供を目指します。

(5) BCP(事業継続計画)の強化

沖縄県内に在庫・作業拠点を確保することで、大規模災害等の有事の際においても、安定した供給体制を維持できるレジリエンスの高い物流網を構築します。

3. 今後の展開

本検討を通じて、NTTロジスコは、沖縄ヤマトと双方の強みを最大限に活かして、地域社会に貢献する高付加価値の創造を進めてまいります。また、「3.5PLビジネスモデル」のさらなる強化を通じ、NTTロジスコが掲げる経営ビジョン「私たちはお客様の物流を進化させ続け、お客様と社会に美しく透明な流れをつくる会社です」の実現を目指し、安全かつ最先端の物流サービスの提供を通じて、お客様のサプライチェーン最適化に貢献してまいります。

※沖縄サザンゲートについて <https://www.yamato-hd.co.jp/southernagate/>

<本件に関するお問合せ>

企画総務部 企画部門 広報担当 TEL 03-6436-8105 URL <https://www.nttlogisco.com/>